



愛知県議会議員

— 民主党 1期 —

中村 晋



(446)

先の名古屋市長選挙で河村たかし氏が圧倒的な支持を得て当選を果たしました。
『市民税10%減税』といった驚くような公約を掲げ、財源は?と従来思考で考える私たちの疑問をよそに多く

昭和30年1月19日生まれ
豊田市永覚町上長根 5-208
全トヨタ労連顧問
愛知県議会産業労働委員会委員
同少子高齢化・人づくり特別委員会委員
民主党愛知県議員団 政務調査会長
民主党愛知県第11区総支部支部長代行
豊田市ボウリング協会会長

名古屋市長選挙に見る新しい流れ

の市民の支持を勝ち取りました。不況の中で家計のやり繰りに悩み、もっと行政のムダ遣いを正して福祉など必要な分野に配分してほしいと願う市民の声は、「庶民が税金を払うのに苦労しているのに税金をもらう役人が楽をしている」と訴える「庶民代表」河村氏の主張

『県民生活が第一』を実践する議会にと見事に相俟って広がり、大きな得票差となって表れました。

私たち県議会においても今回の名古屋市長選挙を教訓とする点がいくつかあると思います。「県民生活が第一」という理念にもう一度

大阪府・宮崎県など知事のリーダーシップが注目され、住民からも高い支持を得ています。いずれも従来の行政システムのムダ・矛盾を明らかにし改革を唱える手法です。

今後、公約実現をめぐる議会や職員とのやり取りに注目が集まっています。すでに減税の他にも職員給与や天下りにも言及しています

立ち返り、議会や行政サイドの理屈だけでなく、県民生活の立場に立って現場の実態を十分把握しなければなりません。

厳しい財政が続く今こそ、従来の行政手法を改革していかんとする一連の改革の流れを止めることなく、愛知からもその勢いを加速させるような政策の実現に向けて取り組んでいきます。

が、市民の賛同を得たことに慢心して独断専行することなく、関係施策が十分機能しているのか、見直すべし